

業、障害者福祉事業等の社会保障制度は、誰もが生きていくうえで必要な支援を、国民全体で支える相互扶助の仕組みであり、一人ひとりの理解と協力と応分の負担が必要で、このため制度の普及・啓発、制度改正への適切な対応、保健・福祉事業の充実による財政運営の健全化に取組みます。

3 「時代に挑戦し、活力ある地域産業を創ろう」

地域特性を活かした産業振興は、定住人口の維持や地域の再生に大きく影響し、町全体の活性化に直結します。

事業者自身の「やる気」を基本に、その熱意と創意工夫を支援する積極的な産業政策を推進します。農業分野においては、環境保全を前提に消費者ニーズを満たす市場競争力の高い商品価値の創造と多様な販売戦略の構築に取組みます。また、町が設立した第3セクター（鬼北町農業公社・日吉農林公社・森の三角ぼうし・日吉夢産地）の将来方向、棲み分け、連携についての検討を行います。近永アルコール工場跡地の活用や集客力の高い拠点整備を進め、地域資源を活用した商工業・観光の活性化に取組みます。

こうした取り組みを通して、経済発展と自然環境との両立、地域の再生を念頭において、柔軟な発想と独

創的な英知を結集し、事業者や関係機関とともに持続的で活力ある地域産業の発展を目指します。

(1) 農業の振興

本町の中山間地域の特性を活かした基幹作物（米、野菜、果樹、畜産）の生産振興対策を関係機関連携の下、積極的に推進します。時代に即応した高い市場競争力を持つ農業生産体制の強化に向け、認定農業者と新規就農者の育成、戦略的作物の生産振興、集落営農の促進、新たな流通システムの構築、農林産物直売所の拡充、ため池改良や棚田保全などの生産基盤の整備、バイオマスエネルギーの研究等に取組みます。

また、農業の多面的機能の活用として、市民農園の整備、地理情報システム（GIS）による情報提供、グリーンツーリズム（滞在型農業体験）等の促進に努めます。



農業公社

(2) 林業の振興

森林整備地域活動支援交付金事業、森林総合整備事業等により、計画的かつ適正な森林施策を実施、それぞれの機能に応じた森林資源の整備に努めます。林業振興の一体化に向け、日吉森林組合と南予森林組合の合併を促進します。林道・作業道の整備等により、生産コストの低減に努め、公共施設などへの町産材の利用促進と、特用林産物の生産振興を図ります。また、「木の文化」の普及と森林の公益的機能の活用にも取組みます。

(3) 商工業の振興

近年の相次ぐ大型店舗の進出等により、町内の商店街は大変厳しい状況下にあります。引き続き商工会組織の育成強化に努めるとともに、商工会の合併を促進します。地域経済の活性化は就労機会の確保が重要で、近永アルコール工場跡地の再開発が起爆剤となるような商工業の振興策を目指します。そのため、今年度も引き続き情報の収集・発信を重点に常に行動が起こせる体制を堅持します。

(4) 観光の振興

観光・レクリエーションの拠点機能として、成川溪谷休養センター、節安ふれあいの森、森の三角ぼうし、日吉夢産地等があり、今後は、自然体験型観光・交流の

推進にも取組みます。

4 「一人ひとりが個性と能力を発揮しよう」

「人づくりがまちづくりの基盤」という認識の下、正しい人権意識を基調とする社会の形成を目指します。その上で、次代を担う子ども達に、確かな学力と郷土を愛する豊かな心の育成に向けた教育を実践します。また、伝統文化の継承や総合型地域スポーツクラブを発展させた多様な交流のなかから、郷土への誇りと自分自身の生きがいを見出すような環境づくりを進めます。

こうした取り組みを通じて、確かな人権意識と倫理観を身につけながら、一人ひとりが様々な分野で個性と能力を発揮できる人材の育成を目指します。

(1) 学校教育の充実

完全学校週5日制のもと、ゆとりある教育活動と学校・家庭・地域社会が一体となった教育環境づくりを進め、豊かな人間性や生きる力に満ちた子供たちを育成するとともに、「自ら学び自ら考える力」を育てる学習習慣を身につけさせるため、基礎・基本を重視した「確かな学力」の向上に努めます。

また、地域の特性を活かし、各学校が創意と工夫を凝らした学校経営に取り組み、特色ある学校づくりを推進するとともに、児童生徒